

■アプリのタイトル

Savoiry(サヴォアリー)

アプリ名「Savoiry(サヴォアリー)」は、「Savor(味わう)」と「Diary(記録する)」を組み合わせた造語です。

美味しい体験をただ消費するのではなく、自分の言葉で記録し、思い出として“味わい直す”ことをコンセプトにしています。

■制作者名

関下 和輝

■アプリケーション概要

Savoiry(サヴォアリー)は、SNSやWEBページに分散しがちな飲食店情報を、一括で整理・保存できる自分専用の飲食店記録アプリです。

このアプリを利用することで、ユーザーは保存した情報を「エリア・グループ・ジャンル・シーン・タグ」から検索でき、「このお店、行ったかったのに思い出せなかった...」という機会を減らすことができます。

さらに、実際に訪れたお店の感想や料理・お店の写真を記録し、記録を振り返ることで、体験を思い出として残せます。

■解決したい課題について

私は飲食店巡りが好きで、普段から「この地域に行ったら」「この人とご飯を食べるなら」といったシチュエーションごとに、食事の時間が楽しいひと時になるように飲食店情報を調べています。

しかし、今の時代はInstagramやTikTokなどのSNS、食べログなどのWEBページに多くの飲食店情報があふれています。それぞれの媒体に保存した情報がバラバラになってしまいます。

その結果、あとで見返すのが難しかったり、せっかく見つけたお店を忘れてしまうことも多く、不便を感じていました。

こうした背景から、私は以下のような課題があると考えています。

1. どのSNSや媒体で保存したか分からなくなり、見返すのが難しい
2. 「誰と」「どこで」「どんなシチュエーションで」行きたい／行ったお店をすぐに調べられない
3. SNSやWEBで見つけた「行きたいお店」の情報があちこちに分散してしまい、ひとつのリストにまとめて管理できないのが不便に感じている
4. 訪れたお店について、「誰と・どこで・いつ行ったか」を後から思い出したい時に、記録がなくて振り返るのが難しい
5. お店の印象や感想を、自分の基準で分類しておきたいのに、他のサービスでは公開レビュー中心で、自分視点の評価を自由に整理しにくい

既存サービスとの比較

| 比較項目 | Savoiry | もぐレコ | Googleマップ | 食べログ |
|------------|--------------------|---------------|------------|--------------|
| 投稿の保存方法 | 投稿URLを貼って記録 | 写真+メモ+URL(手動) | メモのみ | 公開レビューのみ |
| 保存の起点 | SNS・WEB投稿が起点 | お店名から登録 | お店検索結果 | 他人のレビュー |
| タグ・分類の自由度 | タグ・シーン・グループなどを自由設定 | タグを追加できる | タグ設定不可 | 他人の定義に依存 |
| 投稿の振り返りやすさ | 条件検索で瞬時に振り返り可能 | 自分の記録から探す | マイプレイスから探す | 公開レビューを検索 |
| プライベートな記録 | 完全非公開で感想・写真を記録可 | シェアしなければ可能 | メモのみで物足りない | 公開が前提で記録しづらい |

このような課題を踏まえ、Savoiryは、SNSで出会った「行ってみたい投稿」を忘れないための記録アプリです。

投稿URLとエリア・ジャンル・シーン・グループ・タグをセットで保存することで、「いつ

か行きたいと思っていたのに、見つからなくて行けなかった」という機会をゼロにします。

また、実際に訪れたお店の感想や写真を記録し、あとから振り返ることで、その時の出来事や感情を自然に思い起こすことができるSavoiry(サヴォアリー)を提案します。

■課題を解決する方法について

Savoiry(サヴォアリー)では、飲食店情報が分散しがちな現代において、「自分の視点・感覚で情報を整理・記録できる体験」を中心に設計しています。以下のような機能と価値提供によって、課題を解決します。

1. 媒体を問わず情報を一元管理できる

SNSやWEBサイトで、媒体ごとに保存されていた飲食店情報をこのアプリにまとめて記録できます。

「どこに保存したか分からない」といった状況をなくし、スムーズに見返すことができます。

2. シチュエーションやグループごとに柔軟に整理できる

「誰と」「どこで」「どんな目的で」行きたいか／行ったかを、自分の言葉やタグで自由に整理できます。

たとえば「会社の上司と」「雨の日」「夜景デート」と、シーンごとのリスト管理も可能です。

3. 主観ベースでお店を分類できる

「また行きたい」「おすすめしたい」「もう行かない」といった、自分の感覚でお店を分類し、一覧で管理できます。

他人のレビューではなく、自分のリアルな体験をベースに記録できることが大きな魅力です。

4. 思い出や感動をそのまま残せる

訪れたお店の料理・雰囲気・エピソードを、写真・感想・評価と一緒に記録できます。

思い出を楽しく振り返ったり、大切な人との記録を残す「日記」のような使い方もできます。

5. 自分の「グルメデータベース」を育てられる

単なるメモやお気に入りではなく、「行きたい／行った／感想／タグ／評価」の情報を蓄積していく中で、自分だけのグルメ体験をより深く記録・管理していくことができます。

■想定プラットフォーム

スマホ

■機能一覧

※本アプリはログインユーザー専用の設計であり、ログインしていない状態では登録・検索・記録などの主要機能は利用できません。未ログイン状態では、ログイン画面とアカウント登録画面のみ閲覧可能です。

1. お店の情報登録機能(ログイン時のみ)

- 飲食店の情報(店名・ジャンル・エリア・グループ・シーン・タグ)を登録・設定できる
 - 登録した情報は、あとから編集・削除できる
 - 各項目は自由入力に加えて、過去に登録したキーワードを候補として表示できるため、入力の手間を軽減しながら表記ゆれを防止し、検索や整理のしやすさを向上
 - SNSやWEBで見つけたお店の投稿URLを貼って保存できる
-

2. 自分で登録したお店の検索機能(ログイン時のみ)

- ジャンル・エリア・グループ・シーン・タグの条件で検索できる
(ジャンル・エリアは入力必須)

- 「行きたいお店」「行ったお店」と、ステータス別に絞り込みできる
-

3. 訪問後の評価・記録機能(ログイン時のみ)

- 登録したお店に対して「実際に行った日」を記録できる
 - 料理や雰囲気などの感想をコメントとして残せる
 - 写真(料理・内装)を複数枚添付できる
 - 「また行きたい／おすすめしたい／もう行かない」の主観的な評価を選択できる
 - 5段階評価(★1～5)でお気に入り度を登録できる
 - 同じお店に複数回訪問した場合でも、それぞれの訪問日ごとに「写真・感想・主観的評価・★評価」を個別に記録できる
 - 各記録はあとから編集・削除可能な設計で、記録ミスや追記にも柔軟に対応できる
-

4. アカウント機能(ログイン時のみ)

- メールアドレスとパスワードによるユーザー登録・ログインができる
 - 他ユーザーの記録と混ざらず、自分専用の記録データとして管理される
 - ログアウトできる
 - メールアドレスとパスワードが変更できる
-

5. 登録件数・行動履歴の可視化機能(ログイン時のみ)

- 登録したお店の件数を「行きたい」「行った」で分けて表示し、記録状況を可視化できる

- 月ごとの訪問件数をグラフで表示し、過去の行動を振り返ることができる
- 年間・月間での「自分だけのランキング」機能を搭載し、ジャンル別の訪問数や、お気に入り数が多いお店を集計・表示できる

■他資料

- 画面設計図
 - [画面設計図_スマホ 関下和輝.pptx - Google スライド](#)
- 画面遷移図
 - [画面遷移図 関下和輝 - draw.io](#)
- ER図
 - [ER図 関下和輝 - draw.io](#)